

もう何十年も、畑を耕し、鶏を育て、  
卵を集めて命をお届けしてきました。  
自分で育てた作物を与え、国産穀物飼料100%で鶏を育てる  
卵農家・本田孝夫さん（埼玉県深谷市）の  
卵物語をご紹介します。



# 魂のおすそわけ

## 効率重視から 生命への尊重へ

戦後からずっと日本の物価が上がっている中、「物価の優等生」であり続けているのが卵です。1985年で、1kg当たりの販売価格は350円、10コ当たりで計算すると230円となり、それは現在に至るまでほぼ変わっていません<sup>※1</sup>。時には、「特売」として1パック100円未満で売られている光景を目にする<sup>※2</sup>こともあります。

安く販売されている卵の裏側には、鶏を窮屈なケージで密飼いにし、輸入に頼った飼料をひたすら食べさせるという、効率重視の生産方法があります。日本では、何段か積み重ね



集めた卵が入ったかごはずっしりと重い。「でも、大事なものを運んでいると思えば……」と穏やかに話す本田さん。

て並べたケージで鶏を飼育するのが一般的<sup>※3</sup>。1羽が入られるケージの広さはコピー用紙のB5サイズ程度ともいわれ、動き回ることができない状態です。また、窓のない鶏舎では、温度や光の管理、給餌などをコンピューターで行い、採卵も自動化されています。鶏たちがおひさまを見るのは、廃鶏となつて鶏舎を出ていく時なのだとか。与えられる飼料の国産自給率は12%で、原料の多くを占めるトウモロコシはほぼアメリカ産です<sup>※4</sup>。アメリカ産のトウモロコシの大半は遺伝子組み換えともいわれています<sup>※5</sup>。手間を省き、安く、大量に卵を生産するという効率重視の流れに対して、海外では疑問の声が上がり、ケージ飼いの卵の生産・販売の禁止や、世界的な

## 麦ふみから始まる 卵の生産

「これは麦畑。12月に種をまいたから、2・3月に麦ふみをして、6月に収穫するよ」。朝日が降り注ぐ麦畑を見ながら話すのは、「国産穀物育ち・平飼卵」の生産者・本田孝夫さん(埼玉県深谷市)です。「輸入トウモロコシは遺伝子組み換えかも

スポーツ大会で使用する卵や肉などの畜産物を平飼いや放し飼いのものにするなどの動きが多くなってきました。それ自体も生命である卵を尊重し、食べる人も安心でいられるように、大地を守る会は平飼いの卵を扱ってきました。1996年から始めていた、家畜の穀物飼料を国産のものにしようという試みは、卵では2000年に実現。以来、大地を守る会では「平飼卵」「国産穀物育ち・平飼卵」を皆さんにお届けしています。



家の隣には自家採種した種から育てる麦畑が広がっています。この先には田んぼもあり、麦も米も鶏たちの飼料となります。

- 1 朝起きて最初に行うのが飼料作り。自分で育てた米をベースに、3袋の米ぬかや消化しやすいようにゆでた大豆などを加えます。
- 2 飼料の材料は国産原料にこだわります。近所の大地を守る会の生産者を車で回り、その日にあるものもブレンドします。
- 3 毎日作る飼料の量は400kg。「攪はんする機械も重たがっている音を出しているよね」。畑仕事に、機械仕事にと、本田さんを見てると何の生産者だったかを忘れてしまいそう……。



国産穀物飼料100%で  
のびのびと育った鶏の卵

### 国産穀物育ち・ さっぱり平飼卵

1354 蔵 8  
6コ 378円 (税込408円)

1355 蔵 13  
10コ 628円 (税込678円)

6コ 378円 (税込408円)

⑦卵

※生産者は「大地を守る会の生産者」  
(長野県・埼玉県・佐賀県)です。

※卵の総重量は6コ330g以上、10コ550g以上です。

※注文数が多い場合は「大地を守る会の平飼卵」  
「国産穀物育ち・九州の高原平飼卵」を  
代用でお届けします。

※同時配布の『カタログ大地を守る』117号も  
合わせてご覧ください。

Photo:Taro Terasawa Text:Maiko Oasa  
Design:Better Days



4 コツ、コツ、コツ……。『えさが食べたいんだらう』。鶏たちは本田さんが「朝ごはん」を持ってきてくれるのを心待ちにしています。

5 卵を産む鶏はこの箱にやってきます。柱の近くの地面に卵が1つあるのを見ると、「多分間に合わなかったと思うんだ」と本田さん。

6 日差しも風も入る平飼いの鶏舎での心地よさはご覧の通り。地面には糞や玉ねぎの皮などが敷かれて土に還り、有機の畑のよう。

しれないのが不安だし、日本の食べ物  
の自給率が低くて危機感を覚える  
よ」という本田さんは、飼料の主原  
料である穀物が国産100%。トウ  
モロコシの代わりとなっている米は  
麦同様、自分で育てています。  
本田さんの一日は、朝7時からの  
飼料作りから始まります。米、米ぬ  
か、ふすま、大豆……とフォークリ  
フトのシヨベルに入れていきます。  
「今日は人参の皮がたくさんあるよ。  
大地を守る会の生産者で近所の物菜  
屋・誠見産業やパン屋・マリーレン、  
豆腐屋・みやに、飼料の原料になる  
ものが出ると車で取りに行くんだ」

と安心のミネラルなどもたっぷりです。飼料を攪はんする間はつかの間の朝ごはん。「時間がない時は卵かけごはんだね」。そう笑って食べる本田さんは、食事のたびに食べるほど卵が大好きです。  
作りたての飼料が入ったバケツを持って本田さんが鶏舎に向かうと、鶏たちの元気な声が聞こえてきます。日差しが入って明るく、通る風が心地よい鶏舎は広々としており、鶏たちは砂遊びをしたり止まり木で休んだり、のびのびと過ごしています。「こういう場所が好きなんだよな」と話しながら歩く本田さんの傍で、鶏たちはリラックスしたままだが自分たちのペースで卵を産んでいます。かごを持った本田さんは、静かに手をのびし、卵をかごに入れていきます。「卵を守りたいんだらうね。だからつつかれても、俺は怒らない」。ここでは、自然の営みが淡々とつむがれていました。

未来へ  
つむいでいく

本田さんは、365日休まずこの営みを繰り返します。また卵の安売りのチラシが配られても、日米自由貿易協定でアメリカ産トウモロコシの輸入量を増やすことが決まっても、それはまさに、自然の摂理と信念が貫かれた力強いブルース。「ウインドレス鶏舎の中で光を見ることなく、ケージ飼いでほぼ身動きがとれず、予防」として薬を一生与えられるような生き方は、鶏に合っていない。それで産まれてきた卵を食べること、俺はできない。未来の子どもたちも安心して食べ続けられるものを作っていきたい。本田さんは卵を一つ一ついいいに拭きながら語り



7 一つ一つ、形や大きさ、殻の色が違う卵。「個性だよ。こういう個性も大事だよ」。

8 産んだ卵をおなかの下に寄せる親鶏。春が一番卵を産む季節だそう。

9 生まれて3日目のヒナたち。3日目までは玄米と水を与えて胃を丈夫にします。

10 「卵や鶏がいなくなったらさみしい」という本田さんは、食卓でも卵と一緒に。

※1 「鶏卵の需給及び価格の動向」  
(日本養鶏協会、2020年3月2日更新)

※2 此「農林水産省、2009年11月号」

※3 「飼料をめぐる情勢」  
(農林水産省、2020年2月)

※4 「遺伝子組み換え農作物の現状について」  
(農林水産省)

# イベント

編集後記 ↓ 実は約3年前にお伺いしたことがある卵農家・本田孝夫さん。おやつとして酒粕を鶏に与えたり敷料に玉ねぎの皮を使ったりとチャレンジ精神に富みつつ、実直で温かい人柄も変わっていませんでした。それが、あの小さな卵に表れている気がします。(編集部・大麻)

世界に一つだけの自分たちのお米を作ませんか？

## 大地を守る会の稲作体験

大地を守る会  
定期会員  
限定

田植え 2020.5.17 (日) 草取り1回目 2020.6.14 (日)

草取り2回目 2020.7.12 (日) 稲刈り 2020.9.13 (日)

集合 10:30～解散 14:30頃

「稲刈り」の日程は、稲の生育状況により変更となる可能性があります。

舞台となる田んぼは、日本の豊かな里山が感じられる千葉県山武市にあります。初夏の田植え、真夏の草取り、秋の収穫。ずっと昔から繰り返されてきたお米作りの営みは、私たちの暮らしが常に自然とともにあることを実感させてくれます。長年、農業を使わずにお米を育てている田んぼには、たくさんの生き物との出会いもあります。お子さんたちが虫を追いかけて元気に遊びまわっている姿は微笑ましく、穏やかな時間が流れます。そして、この稲作体験の醍醐味は何といても自分で作ったお米を食べられること。汗を流して一生懸命作ったお米は本当においしいですよ！

### 旅行企画・実施

エアワールド株式会社  
〒540-0026  
大阪市中央区内本町2-2-14-207号  
観光庁長官登録旅行業第961号/  
日本旅行業協会 (JATA) 正会員

### 旅行取扱

株式会社マイチケット  
エアワールド(株)代理店  
日本旅行業協会 (JATA) 協会員/  
兵庫県知事登録旅行代理業第142号  
総合旅行業務取扱管理者: 山田和生  
TEL 06-4869-3444

### DATA

**訪問先**……さんぶ野菜ネットワーク・佐藤秀雄さんの田んぼ (千葉県山武市)  
※最寄り駅はJR総武本線「八街駅」です。  
電車でお越しの方は、「八街駅」集合9時45分、解散15時頃予定です。

**駐車場**……あり (無料)

**旅行代金**……大人 (中学生以上) ●8,000円/年、子ども (小学生) ●4,000円/年、未就学児 ●無料  
※代金はすべて消費税込みです。  
※全行程一括前払いです。  
1回のご参加でも同料金となります。  
※昼食と収穫後のお米の代金は含まれません。

**定員**……150名

**申込締切**……4月24日 (金)

**協力**……大地を守る会 稲作体験実行委員会

**お問合せ**……大地を守る会  
ソーシャルコミュニケーション部  
TEL ●050-5306-8513  
E-mail ●ord\_social@oisixradaichi.co.jp

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止となる可能性があります。中止の場合は、4月末頃にはご連絡いたします。



右上 / 普段なかなか入ることのない田んぼで、土の感触を楽しみながらみんなで田植えをします。左上 / 約半年かけて育った稲を刈り取り、おいしいお米が食べられます！ 下 / 草を取りながら、生き物も発見できるかも。

### 【注意事項】

- 集合・解散場所までの往復交通機関は、各自でご確認ください。
- 電車でお越しの方は、八街駅から田んぼの往復には送迎バスを用意します。
- 自家用車でのご参加も可能です。お申込みの際、その旨をご明記ください。自家用車をご利用の方向への駐車場 (無料) から田んぼまでは、徒歩約10分です。自家用車をご利用の方は八街駅と田んぼを往復するバスは利用されませんが、その差額返金はありません。
- 昼食は各自でご持参ください。昼食の場所は田んぼのそばの公民館を利用します。
- 参加を申し込まれる皆さんと旅行会社との通信は、電子メールを利用します。お持ちでない方はその旨をお知らせください。
- 定員を超えるお申込みがある場合、抽選となります。申込締切後、抽選連絡とともにツアー (イベント) の詳細説明文書を電子メールでお送りします。文書をご確認の上、旅行代金を指定口座にお振り込みください。
- 添乗員は同行しませんが、大地を守る会の担当者が同行します。
- 小学生以下は3名につき大人 (中学生を除く) 1名の付き添いが必要です。
- 詳細は後日、パンフレットにてご案内いたします。
- 収穫後のお米の代金は、ご希望の方に別途有料となります。収穫量により異なりますが、3,000円～4,000円 (送料込み) の予定です (平均の収穫量は1人あたり約3～5kg)。

### お知らせ

## 新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベント中止について

3月1日 (日)「大地を守る会オーガニックフェスタ」、3月28日 (土)「春の三浦・大根収穫祭」、4月29日 (水・祝)「山形村短角牛トーク&ディナー」と開催を予定しておりましたイベントは、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、ご来場いただく皆さんの健康・安全面を第一に考慮した結果、開催を中止することにいたしました。本イベントを楽しみにして下さった皆さんに

は残念なお知らせとなりますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、今後告知するイベントに関しましても、状況により開催中止になる可能性がございます。イベントの開催状況につきましては引き続き、毎週配布している別チラシ『はっとでえ』や大地を守る会のホームページ「イベント」などで随時お知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

## オーストラリア森林火災への支援報告

燃え続ける炎、必死に水を飲むコアラ。強い印象を残したオーストラリアの森林火災は、2019年9月頃に発生し、2020年2月中旬に30年ぶりの豪雨により鎮火しました。約半年もの間続いた大規模な火災は、森林の喪失や生物の犠牲など甚大な被害をもたらしました。オーストラリア・カンガルー島産のなたねを使用した「石橋製油のなたねサラダ油」も取り扱っている大地を守る会では、300円をカンガルー島に寄付する寄

付きの同商品を111号 (3月2日～6日週注文)～113号 (3月16日～20日週注文) で販売しました。ご協力ありがとうございました。詳しい報告は、大地を守る会のホームページなどでお知らせいたします。



オーストラリア・カンガルー島産のなたねを使用したなたね油

お申込みはWEB  
または右記申込書を  
注文書と一緒に  
ご提出ください

大地を守る会 イベント 検索



### お問合せ

オイシックス・ラ・大地  
ソーシャルコミュニケーション部  
TEL ●050-5306-8513  
E-mail ●  
ord\_social@oisixradaichi.co.jp

### 注意事項

当社は、大地を守る会のイベント及び大地を守る会が告知する他団体のイベントにお申込みいただく際、ご記入いただく個人情報をお申込み内容に関する確認、参加者への連絡、抽選、抽選結果連絡、お問合せに対する回答、非常時に関する対応、イベントの質向上管理のために利用させていただきます。なお当社は、イベント等を旅行業者に業務委託する場合があります。この場合、個人情報を開示することがあります。業務委託にあたっては、個人情報の保護に関する契約を締結し、業務委託先が契約を遵守するよう必要かつ適切な管理及び監督を行います。上記に同意の上お申込みください。個人情報の取扱いに関するその他の条件については、当社ウェブサイトの個人情報保護方針をご確認ください。  
<https://takuhai.daichi-m.co.jp/information/8>

## 2020年4月号 イベント参加申込書

ソーシャルコミュニケーション部行

イベント名				参加人数	会員番号			
				人				
参加者の氏名 (フリガナ)	性別	年齢・学年 (生年月日)	アレルギーの有無	参加者の氏名 (フリガナ)	性別	年齢・学年 (生年月日)	アレルギーの有無	

メールアドレス (事前連絡が可能で添付ファイルが受信可能なもの)

携帯電話番号 (当日連絡が可能なもの)

\*ご家族の場合は代表者分のみをご記入ください。

備考 (会員として登録された「住所」と異なる方がいらっしゃる場合はその方の住所、他連絡事項がある場合はその旨をご記入ください。)

\*複数のイベントにお申込みされる場合や記入しきれない場合は、「連絡便」などに必要事項を明記の上、ご提出ください。



発行 オイシックス・ラ・大地株式会社  
東京都品川区大崎1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー5階  
TEL 050-5306-8513